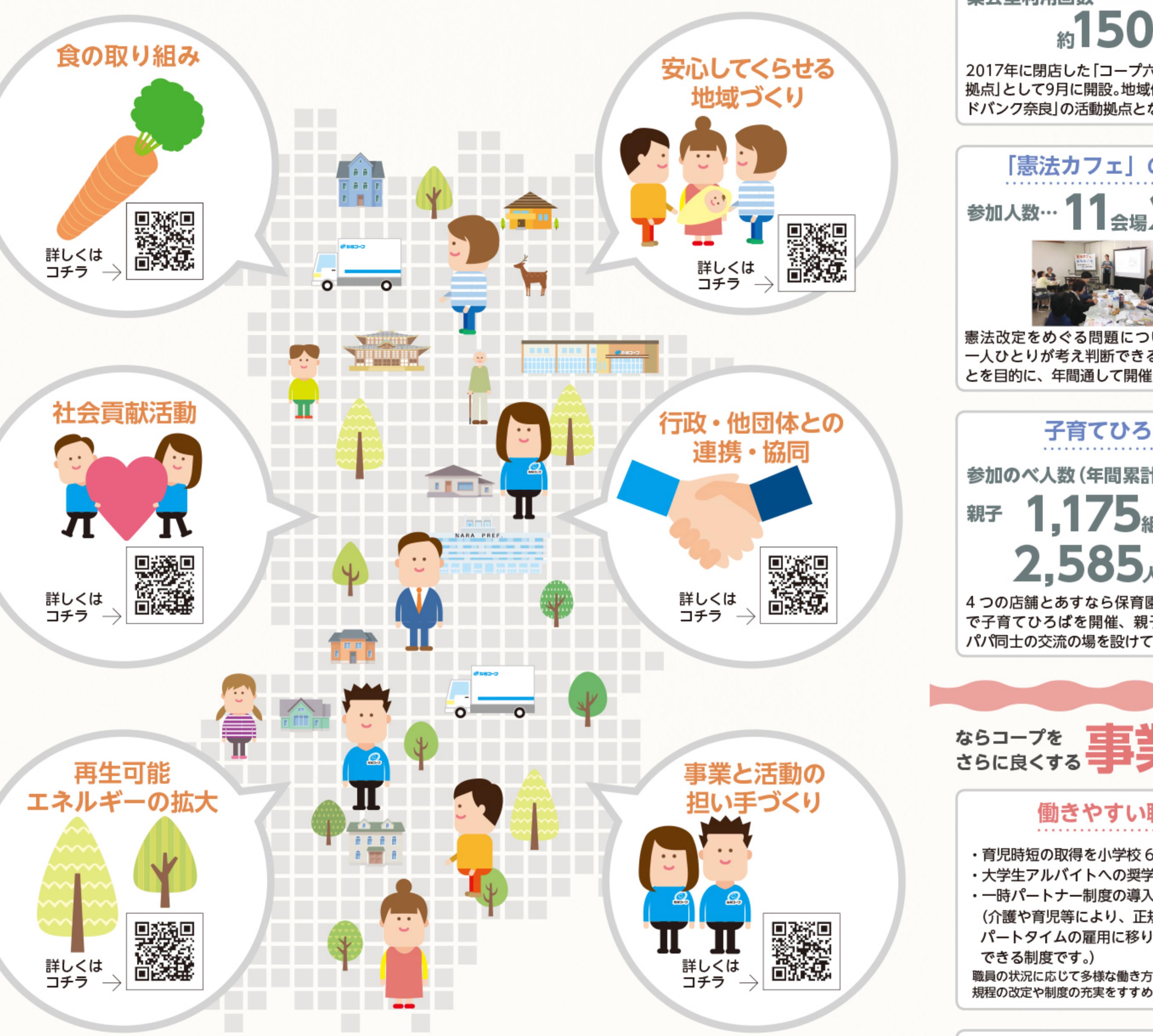




# ならコープグループは事業と活動を通じて 組合員のくらしに貢献し続けます。



第11次中期計画の最終年度である2018年度は、事業面と活動面で大きな改革・改善をすすめました。  
「事業と活動を通じて組合員のくらしに貢献し続ける」ことで、組合員のくらしに笑顔が溢れ、  
その笑顔が職員に元気をもたらし、一人ひとりの成長につながっていくものと私たちは考えます。  
ならコープの基本的な価値は、地域や社会を明るく豊かにしていくことです。  
組合員に利用し続けられる「商品」と「仕組み」づくりのために力を注ぎ、実践し続けます。

## 安心してくらせる地域づくり



### copeふれあいセンター六条「こころテラス」

集会室利用回数..... 利用団体数.....  
**約150回 約30サークル・団体**

1週間の停留所数.....  
**168カ所 (前年度より+43)**

支持が一層広がり、  
移動店舗は4号車が  
1月から運行開始。

### copeふれあいセンター六条「こころテラス」

参加人数... 11会場 220人

夕食宅配

毎日..... 約4,200食をお届け

利用者..... 約3,200人

試食会..... 76回 (イベント含む)

組合員同士が協力しあって有償でたすけあい活動を行っています。家事支援・産前産後・子育て支援などさまざまな場面で役立っています。

### 子育てひろば

参加のべ人数 (年間累計)  
親子 1,175組 2,585人

便利なサービスの提供

より便利に、楽しく商品が利用できるように、  
サービスを拡大しました。

## 事業と活動の担い手づくり

### 働きやすい職場の実現に向けて

育児時短の取得を小学校6年生まで延長  
・大学生アルバイトへの奨学金支援制度の実施  
・一時パートナー制度の導入  
・介護や育児等により、正規職員が一時にパートタイムの雇用に移り、いつでも戻ることができる制度です。  
職員の状況に応じて多様な働きができるよう、規則の改定や制度の充実をすすめました。

### 新人事制度・新人事給与システムの導入

新人事制度を導入し、行動評価や教育制度の再構築など組織改革・職場風土改革に取り組みました。新制度に対応した人事給与システムも導入し、生産性向上を図りました。また、キャリアを考える場づくりとして、55歳・50歳・45歳・40歳と5歳刻みの研修を実施しました。

### 多様な人材の雇用

障がい者雇用率(ならコープ (株)ハートフルコープなら)  
**4.05% (法定雇用率 2.2%)**

・ならコープ 2.98%  
・障がい者雇用率 112.5%

\* (株)ハートフルコープならの就業援助支援人専門会社 (障がい福祉サービス事業所) のため算出を除く

店舗部門の実務研修への参加や、リサイクル作業・夕食宅配の仕分けなど、ステップアップの実現とともに仕事の幅が広がっています。

## 行政・他団体との連携・協同



### 買物事業での連携

(一社)かわかみらいふ利用者数(年間)  
**8,245人 (前年比 170.2%)**

「一般社団法人かわかみらいふ」による、川上村へのならコープの子育て支援の共催事業を始めました。この事業は子育て家族が地域とつながり孤立を防ぐため、赤ちゃんグッズを詰め合わせた「つながる箱」をお届け実現も検討します。

全国で初めて、奈良県とならコープの子育て支援の共催事業を始めました。この事業は子育て家族が地域とつながり孤立を防ぐため、赤ちゃんグッズを詰め合わせた「つながる箱」をお届けする取り組みです。

・「価値創造プロジェクト」に関する協定 (18年4月)川上村

・包括連携協定(18年9月) 東京海上日動火災保険株式会社

・村づくりに関する「包括連携協定」 (18年10月)下北山村

・大和高田市見守りネットワーク事業」に関する協定 (18年12月)大和高田市

・住民の買い物支援事業に関する覚書 (19年1月)御所市

・王寺町見守りねっと」事業に関する協定 (高齢者・子ども見守り協力事業者ネットワーク協定)、「認知症高齢者等SOSネットワーク協定) (19年3月)王寺町

・「桜ライン311」への参加者..... 20人

福島の子ども保養プロジェクトinなら 11家族 30人 (うち小学生の子ども17人) 人が参加

福島の子どもとその家族をケアする取り組みです。2018年度は福島県での開催企画にも協力し、奈良県産の素麺100人分を提供し、持ち込み企画として「金魚すくい」を実施しました。

商品の利用を通じた応援

震災復興支援

震災支援企画の利用点数 31,835点

(共同購入班・こだわり便・受取ハウ

被災地に生産拠点を持つ企業の商

品をカタログで案内し、店頭では宣伝販売に取り組むなど、両事業を通じて応援企画を行いました。

## 食の取り組み

### 組合員からのお問い合わせ窓口

コールセンター受付件数.....  
**329,691件 (前年比 94.9%)**

コープペル受付件数.....

**554件 (前年比 97.5%)**

コールセンターでは、組合員からの注文受け付けや、ご意見・ご要望など、さまざまなお申し出を聞き取っています。また、コープペルは、食をはじめとするならコープ全般の相談窓口として開設しています。

商品不具合に関するお申し出件数

受付数.....  
**1,582件 (前年比 81.4%)**

前年よりも受付数を削減することができました。また、増加傾向にある「異臭」のお申し出に関して、適切な対応ができるよう各事業所の職員や一部組合員理事・活動組合員を対象に「臭気トレーニング」を37会場・267名参加のもと実施しました。

エネルギーの地産地消

ならコープでんき契約数.....  
**5,509件 42% (一財) 再エネ協同基金の活動)**

ならコープでんきFIT比率 (再生可能エネルギー比率) 2018年12月現在

再エネ・省エネをすすめる取り組み

再エネ協同基金への寄付額.....  
**4,000,000円 (一財) 再エネ協同基金の活動)**

助成額.....  
**2,311,000円 (一財) 再エネ協同基金の活動)**

再エネふれんず(賛助会員数) 個人450人 団体20人

ならコープ事業所の太陽光発電設備の売電収益の一部を寄付し、2016年9月に基金を創設。基金を管理・運営する(一財)再エネ協同基金を設立し、同法人では地域や家庭での再エネや省エネを普及するために学習活動や助成事業をすすめています。再エネふれんずとは、その活動を応援する会員です。

再生可能エネルギーの拡大

総発電量.....  
**5,146,415kWh 4,714kW (発電設備容量)**

6月ならコープwithローソン真美ヶ丘店に太陽光発電設備(自家消費66kW)を設置しました。また、ならコープでんき契約者に

対して、エアコン使用による熱中症予防などの呼びかけとわずかながらの応援として8月度電気料金を5%引きしました。

エネルギー(水力発電)を軸にした地域振興の取り組み

10月に下北山村と村づくりに関する「包括連携協定」を締結。下北山村の豊かな水資源を活用した「小又川発電所」の更新により生まれた収益を、村の地域振興につなげる取り組みがスタートしました。更新工事は2019年1月着工し、発電開始は2020年夏頃を予定しています。